

道徳通信かがわ

第40号
令和2年12月1日(火)
香川県教育委員会事務局
義務教育課

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進

道徳教育は、特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて行うものですが、道徳教育と道徳科はどのように関連させればよいのでしょうか。

道徳教育と道徳科の関連を図るには、次のようなことに留意する必要があります。

- ① 道徳科以外で扱うことが難しい内容を、道徳科で**補充**する。
- ② 教科等のねらいを妨げないよう、教科等に関連する内容を道徳科で扱い、**深化**する。
- ③ 教科等における道徳教育と道徳科の学びとの関連を捉え直させるなど、**統合**する。

道徳教育と道徳科の関連を図るために…

補充・深化・統合

全教育活動を通じて行う道徳教育の中では

補充

機会が少ないから道徳科の授業で確実に扱う。

深化

十分な指導ができず、心に届いていないから道徳科の授業でしっかり指導する。

統合

ばらばらなので、つながりを知り、より深く理解したり、発展させたりする。

52

例えば、「約束やきまりが守れる子の育成」を行うために、特別活動と道徳科を関連させることが考えられます。

約束やきまりが守れる子の育成



58

約束やきまりが守れる子の育成



59

出典：「NITS オンライン研修（道徳教育指導者養成研修）」浅見 哲也 教科調査官 講義資料

特別活動の学級活動においては、「みんなで意見を出し合いながら、クラスのきまりを守っていきましょう」という活動を行い、解決するために合意形成や意思決定を行います。

一方、道徳科では、きまりは何のためにあるのか、その道徳的価値の意義について考え、自分の生活に生かしていこうとする態度を養います。

すなわち、各教科等や日常生活では、道徳的実践の指導を行い、道徳科においては道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度の育成を行います。このように互いに関連させることで、指導の効果を一層高めることが期待できます。